

配合飼料をコーンコブ主体廃菌床サイレージに 代替する乳用種去勢肥育

飼料価格の高騰や高止まりによる飼料費の増加、素牛価格の高騰などが肥育経営を逼迫しており、生産費の低減が緊急の課題になっています。長崎県でのコーンコブ主体の廃菌床は年間6,200 tにのぼることから、長崎県農林技術開発センター大家畜部門では、飼料費低減の一つとしてエノキダケやエリンギの菌床栽培で用いられるオガクズを含まないコーンコブ主体廃菌床の飼料化と給与技術を開発しましたので紹介します。

☆ 技術の概要

1. コーンコブ主体廃菌床は、水分を50%~60%に調整することにより発酵品質の良好なサイレージ(CCS)が得られ、糖蜜および米ぬかを添加することでウシの嗜好性が向上します。現物当り配合割合は、廃菌床:糖蜜:米ぬか:水=82.5:1.5:10:6 としました。
2. 肥育前期に市販配合飼料、イタリアンライグラス乾草および稲ワラを給与し、肥育後期に市販配合飼料および稲ワラを給与する慣行区と、前期、後期ともに配合飼料の10%をCCSで代替する試験区を設け、各区に乳用種去勢肥育牛3頭を供試して、出荷月齢22カ月まで肥育しました。
3. 乳用種去勢肥育牛において、配合飼料の10%(DM)をコーンコブ主体廃菌床サイレージに代替しても、乾物摂取量は慣行給与と同等で、産肉成績に影響を及ぼさず、慣行給与と同等の産肉性を示します。



写真1 コーンコブ主体
廃菌床



写真2 コーンコブ主体廃菌
床サイレージ



写真3 給与試験

☆ 活用面での留意点

コーンコブ主体廃菌床サイレージの嗜好性を良くするためには、配合飼料とコーンコブ主体廃菌床サイレージを混合することが望ましく、サイレージの開封後は変敗を防ぐために速やかに給与して下さい。詳しくは、長崎県農林技術開発センター大家畜部門 早田剛 (TEL: 0957-68-1135) にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)